

ごみ焼却処理施設建設に係る経費試算比較

(単位：百万円)

朝霞市150 t、和光市80 t	朝霞市単独設置 (150 t)	和光市単独処理 (80 t)	広域化処理 (230 t)
建設費 (焼却方式・契約金額)	7,200	5,000	9,200

広域化処理における朝霞市の負担割合 (試算) による比較



1 処理能力による按分		広域化処理
朝霞市 (150 t → 65.2%)	負担額	5,998
	単独設置との比較	▲1,202

2 人口割による按分 (H25.12.1現在人口)		広域化処理
朝霞市 (132,527人 → 62.5%)	負担額	5,750
	単独設置との比較	▲1,450

3 均等割20%、ごみ量割80%による按分		広域化処理
朝霞市 (ごみ量 → 61.2%)	負担額	5,424
	単独設置との比較	▲1,776

※広域化処理については、用地取得費は除いてあります。